

2. 環境・防災・社会基盤 美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち

方針	(1) 自然環境を守り、快適な住環境の実現を目指します	
現状と課題	○山林開発や観光客の増加による水環境への影響が懸念されます。	
	○森林の手入れ不足等により、森林の持つ水源かん養機能、生態系保全機能などの多面的な機能が低下しています。	
	○本市の豊かな自然環境や美しい景観を次代に継承するため、良好な景観の保全、継承に対する地域の取り組みが必要となっています。	
	○老朽化している市営住宅が多くあり、修繕対応が必要となっています。	
施策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①水環境を保全します	
	河川の定期的な水質検査を実施し、水質の状況把握に努めます。	環境課
	土壌と水質の浄化・保全を図るため、農薬や化学肥料を減らした環境保全型の農業を推進します。	農務水産課
	公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設・農業集落排水処理施設・個別排水処理施設の整備を計画的に進め、加入を促進します。	水道工務課
	②自然環境の保全に努めます	
	市民の自主的な環境保全活動を展開していくため、清掃活動の推進と自然環境保全に対する意識の高揚を図ります。	環境課
	地球温暖化防止等の環境保全活動を促進するため、学校や地域における環境教育を推進・支援します。	環境課 学校教育課
	人里近くの里山林整備を促進し、市民に快適な森林空間を提供できるよう普及啓発します。	林務課
	③景観を守り、心地よい住環境をつくります	
	景観形成重点地区指定に向けた支援を行い、景観協定の締結を促進します。	都市住宅課
良好な景観の保全・形成について市民・事業者の意識啓発や協力体制を強化します。	都市住宅課	
快適な住環境を提供し、安心して生活できる公営住宅の整備・維持管理を推進します。	都市住宅課	
協働で取り 組む事項	○地球温暖化防止活動や清掃活動等の環境保全活動に協働で取り組みます。	
	○良好な景観の維持・形成に向けて取り組みを行います。	

2. 環境・防災・社会基盤

方針	(2) 廃棄物対策を推進し、循環型社会を実現します	
現状と課題	<p>○ごみの分別は現在29種類に分類されていますが、可燃ごみに資源ごみが混ざっていることもあり、減量化に向けた分別意識の向上が必要です。</p> <p>○可燃物の減量に努め、郡上クリーンセンター施設の安定した運転を確保する必要があります。</p> <p>○太陽光発電、水力発電、木質バイオマスエネルギー等の新エネルギーについて導入を推進する必要があります。</p> <p>○環境にやさしい物品等を導入し、環境負荷の低減を図る必要があります。</p>	
施策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①総合的な廃棄物対策を推進します	
	可燃ごみの減量化に向け、ごみの分別を徹底するため、資源ごみの分別指導を実施します。	環境課
	資源有効活用のため、4R（不要な物の不買、拒否、廃棄物の減量、再使用、再資源化）の徹底を推進します。	環境課
	生ごみの堆肥化など資源循環型のライフスタイルを支援します。	環境課
	②資源循環システムの確立を目指します	
市民や事業者の新エネルギーへの認知度・関心を高めるため、積極的な普及啓発や情報提供を行います。	商工課	
森林に放置された間伐材等を有効活用するため、薪ストーブの導入を促進します。	林務課	
農業集落排水施設、合併浄化槽から排出される汚泥の資源利用を進めます。	環境課	
③環境にやさしい物品等を導入します		
公用車について環境対応車の導入を推進します。	財務課	
照明器具について、LED等の省エネルギー機器への更新を進めます。	財務課	
協働で取り組む事項	<p>○各種団体、機関との協力体制を整え、不法投棄パトロールの強化により、不法投棄の防止と早期発見及び処理を推進します。</p> <p>○リサイクルフリーマーケットの開催やマイバッグ運動等を推進します。</p>	

2. 環境・防災・社会基盤

方 針	(3) 暮らしの中の安全・安心を守ります	
現状と課題	○広大な市域において、大地震等の災害時には公的機関によるすべての被災箇所への対応は困難なことから、自主防災組織の育成強化を図る必要があります。	
	○高度化した気象情報、河川の水位情報、土砂災害情報などを活用し、適切な判断で避難情報を迅速に伝達することができる体制をつくる必要があります。	
	○消防団は地域の防災に必要な不可欠な組織ですが、若年人口の減少等により団員の確保が困難になっています。	
	○間伐など適正な管理がなされていない荒廃山林の増加により、山腹崩壊等が発生することなどが懸念されています。	
	○高齢者の交通死亡事故が多発する傾向にあり、警察署や交通安全協会と協力してその対策を行う必要があります。	
	○消費者に関する問題は多様化、複雑化しており、関係機関と連携をとり、被害防止対策を行う必要があります。	
施 策 及び 基本計画 事 業	施 策	担 当 課
	基本計画事業	
	①総合的な防災体制を整備します	
	自主防災組織の強化を支援するとともに、防災知識の普及啓発を行います。	総務課 消防課
	安全・安心メールを活用し、市民に災害情報等を迅速かつ適切に伝達します。	総務課
	災害危険箇所を調査し、関係機関及び地域住民と情報の共有化を図ります。	建設総務課 総務課
	消防団組織の充実を図るとともに、地域事情に合わせ、経験者を災害等支援団員として登録することを推進します。	消防課
	住宅用火災警報器の設置を促進するため、自治会等と協力して普及啓発を行います。	消防課
	②森林整備により緑のダムをつくります	
	森林の公益的機能増進を目指し、間伐など森林整備を計画的に進め、災害に強い森林づくりを推進します。	林務課
	小・中学校と連携し、森林・林業体験、森林教室を通して森林整備の必要性を啓発します。	林務課 学校教育課
	③交通安全、防犯対策、地域安全対策を進めます	
	子どもや高齢者に対する意識の向上を図るため、交通安全教室を実施します。	総務課 高齢福祉課 学校教育課
	交通安全施設の整備や、自治会、地区への防犯灯の設置支援により、危険箇所の解消を図ります。	総務課
	消費者問題について市民が知識を高めるための情報提供を行うとともに、安心して相談できる体制づくりを進めます。	総務課
協働で取り 組む事項	○自治会、青少年育成団体、交通安全協会、防犯協会などの各種市民団体と連携し、地域ぐるみで安全対策の充実を図ります。	

2. 環境・防災・社会基盤

方 針	(4) 利便性と安全・安心の基盤整備を進めます	
現状と課題	○市民の利便性向上と一体感の醸成、また、交流産業振興のため、市内各地を結ぶ幹線道路網の整備や未改良市道の整備が必要です。	
	○市内の道路には狭隘な山間に危険箇所や交通規制区間が多くあり、これらを解消するための整備を継続的に進める必要があります。	
	○耐用年数を経過し老朽化した橋梁や舗装面の劣化が著しい道路が多くあるため、計画的な維持補修が必要です。	
	○自然環境との調和及び冬期路面凍結解消のため、木漏れ日をつくる沿道林の整備が必要です。	
	○急峻な山地と溪流といった地理的条件等により河川災害が発生しやすいため、治山、治水、河川改修を計画的に実施する必要があります。	
	○除雪委託業者が年々減少しているため、冬期道路交通を確保するための除雪体制の整備が必要です。	
	○水道施設の老朽化による浄水場の損傷や配水管の漏水が多発しているため、施設の統廃合を含めた施設更新が必要です。	
施 策 及び 基本計画 事 業	施 策	
	基本計画事業	
	担当課	
	①幹線道路網を整備します	
	東海北陸自動車道白鳥インターチェンジ以北の4車線化事業の推進を積極的に要望します。	都市住宅課 建設総務課
	地域高規格道路 濃飛横断自動車道金山八幡間の整備促進を積極的に要望します。	都市住宅課 建設総務課
	国道の改良を積極的に要望します。 (直轄国道156号大和改良、同歩道整備等、一般国道156号歩道整備及び災害防除等、一般国道256号八幡町及び和良町地内等)	都市住宅課 建設総務課
	主要地方道、及び県道の改良を積極的に要望します。 (主要地方道金山明宝線、大和美並線、一般県道鹿倉白山線、同白山美濃線等)	都市住宅課 建設総務課
	未改良市道を計画的に改良します。	建設工務課
	八幡町小那比地内の市道生屋線を改良します。	建設工務課
	大和町大間見地内の大間見東線を改良します。	建設工務課
	白鳥町為真地内の中学校線を改良します。	建設工務課
	白鳥町中西地内の白鳥中西線を改良します。	建設工務課
	高鷲町切立地内の切立線を改良します。	建設工務課
美並町粥川地内の森下赤小場線を改良します。	建設工務課	
明宝畑佐地内の日洞線を改良します。	建設工務課	
和良町方須の方須乙原線を改良します。	建設工務課	
その他の市道改良を計画的に進めます。	建設工務課	
物流・観光・地域経済の持続的発展の基礎となる道路整備を行います。	建設工務課 都市住宅課	

施 策		担当課
基本計画事業		
施 策 及び 基本計画 事 業	②災害危険箇所の解消を進めます	
	長良川の河川浚渫をはじめとした治山・治水対策が計画的に実施できるよう関係機関と連携し進めます。	建設工務課
	土砂災害警戒区域の指定を行います。	建設総務課
	③道路・橋梁の適正な維持管理を行います	
	市道の維持補修を行います。	建設工務課
	農・林道の維持補修を行います。	建設工務課
	橋梁長寿命化修繕計画を基に橋梁補修を行います。	建設工務課
	木漏れ日をつくる沿道林修景整備を行います。	建設工務課
	④除雪体制を整備します	
	市保有除雪機械の更新・増強を計画的に実施します。	建設総務課
除雪業者及びオペレーターの確保を図ります。	建設総務課	
⑤水道施設を整備します		
水道水の安定供給を図るため、老朽化した水道施設の統廃合を計画的に実施します。	水道総務課 水道工務課	
協働で取り 組む事項	○協働で除排雪作業を行います。	
	○道路環境整備（沿道の植栽等維持管理）を行います。	

2. 環境・防災・社会基盤

方 針	(5) 公共交通網を整えます	
現状と課題	○高齢社会の進展に伴い、市民の日常生活の通院、買物等の移動手段を確保する必要があります。	
	○日常生活における自家用車の利用が定着しており、公共交通の利用者は減少し、採算性にも影響を及ぼしています。	
	○市内の路線バスの運行補助金、自主運行バス等の運行経費及び長良川鉄道への市負担が大きくなっています。	
	○合併以前の旧町村の様々な運行形態や運賃等の平準化が課題となっています。	
	○観光客や市民への公共交通の情報提供により、利用を促進する必要があります。	
施 策 及び 基本計画 事 業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①幹線公共交通路線等を維持し、利便性の向上を図ります。	
	幹線公共交通路線（明宝線・和良線）と、長良川鉄道、高速バスの乗り継ぎを向上します。	企画課
	長良川鉄道と市内地域間を運行する幹線公共交通路線への支援を継続します。	企画課
	②効率的で地域事情に適した支線公共交通路線の運行に取り組みます。	
	統一的で適正な料金体系と運行日・運行便数等の適正なサービス水準を設定し、バスの利用状況や地域事情による運行形態の見直し、及び改善を進めます。	企画課
	自主運行バス等の公共交通が運行していない交通空白地域（八幡地域安久田、高鷲地域切立等）の解消へ向けた取り組みを進めます。	企画課
	地元自治会、NPO等が主体となる運行事業を支援します。	企画課
	高鷲・美並・和良地域の福祉バスの運行を見直し、誰でも利用できる有料バスの運行へ向けて取り組みを進めます。	企画課 社会福祉課
	③利用促進や増収対策に取り組みます。	
	市民病院等の病院への乗り入れなど利用目的にあった運行とし、利用拡大に取り組みます。	企画課
	バス車両やバス停の広告等による増収対策に取り組みます。	企画課
	通学・通勤の長良川鉄道や自主運行バスの利用推奨に取り組みます。	企画課
	観光客や市民への公共交通の情報提供に取り組みます。	企画課 観光課
協働で取り 組む事項	○市民のニーズに応じて、市民自らが運行ルートやダイヤなどのサービスを創り、積極的に利用することで公共交通を支え、それを市が支援する持続可能な交通ネットワークづくりを行います。	

2. 環境・防災・社会基盤

方針	(6) 情報基盤を整備・活用し、暮らしの可能性を広げます	
現状と課題	○今後さらに進化していくことが予想されるICT環境に対応しつつ、行政事務の効率化と市民サービスの向上を一層推進する必要があります。	
	○日常生活で身近なテレビを活用した行政サービスの拡充や、市民生活の利便性向上が求められています。	
	○市内には、民間と市営のケーブルテレビ放送局とが共存しており、適切に連携することで、より効率的な運営と行政情報の均衡ある提供が求められています。	
	○電波法周波数割当計画の変更により、平成28年5月末までにアナログ消防無線をデジタル化する必要があります。	
施策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	① ICTの積極的活用を図ります	
	郡上ケーブルテレビにおいて、より高速なインターネット接続サービスを開始し、ブロードバンドの通信環境を充実します。	情報課
	郡上ケーブルテレビのデータ放送について、買い物支援サービスなど双方向による機能の拡充を進めます。	情報課
	②業務の効率化を推進します	
	ケーブルテレビの運営について、指定管理者制度を導入し、民間技術の活用により経費節減と利用者へのサービス向上を目指します。	情報課
	市の業務で使用するオフィスソフトについて、オープンソースソフトウェアへの移行を進め、経費の削減と維持管理の簡略化を目指します。	情報課
	③消防無線のデジタル化を進めます	
	指令センターの改修と無線設備の整備を一体的に進めます。	消防本部
消防団の通信手段として、防災行政無線を使用できるよう準備を進めます。	消防本部 総務課	
協働で取り 組む事項	○市民や市民活動団体等と協働して、郡上ケーブルテレビの自主放送番組づくりを行います。	
	○情報通信の普及や地域情報化の推進により産業の振興を図るため、(仮称)郡上市情報化推進懇談会を設立します。	